

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 安全安心思いやり先端医療産業基盤の創出

代表者名： 小宮山 宏

所属機関名： 東京大学

コメント

本提案は、膨大化する生命情報の統合と、複雑化する疾患情報の構造化の 2 つ融合研究拠点として、概ね 10 年～15 年後にイノベーションを起こし、革新的な技術開発並びに新産業の創出などが期待されるものと評価された。

しかしながら、委員からは、以下のようなコメントが寄せられている。

- ・イノベーションの観点からは、何がブレークスルーかがよく見えない。これまでの研究の延長の感があり融合が十分でない。

- ・本課題はプレゼンテーションにあったように拠点形成、システムづくりを主眼としている。言い換えれば、研究の実施やイノベーション創出に向けた取組みは、別に投入される資金に依ることと見られ、他の状況に依存する。着実な推進のためには、このような現況条件が満たされ、多数の企業が参加する本課題の運営が適切に行われるように、留意する必要がある。

- ・組織の編成等に重きが置かれ、創薬、再生医療にも言及されているが、具体性を欠く。ともあれ、研究というよりも組織化が目的とされており、調整費の主旨に反するのではないか。協力機関は 29 と多すぎる。

上述の観点も含め、1 年目はミッションステートメントの実現可能性についてさらに調査・検討することとし、その結果を踏まえ、拠点化構想等（企業との協同体制を含む）の改善を行うこと。